## 〔英語ブロック【重要ランク順】オリジナル英単語帳 〕⑤

<sup>45</sup> ⊠ to [トゥー]

## 前~へ、~に、~まで

≪to+動詞の原形で≫ 不定詞を作る語

同音語: two (2)、too (~もまた)

go to school 『学校へ行く』
listen to music 『音楽を聞く』
from ~ to … 『~から…まで』
to one's surprise 『驚いたことに』
※ one's の部分には所有格が入る。
to tell the truth 『真実を言うと』

≪to + 動詞の原形で≫【不定詞(1)】

- ① ~すること
- ② ~するために、~して [副詞用法]

[名詞用法]

③ ~するための、~すべき [形容詞用法]☆ かんたん英文法 【不定詞①】参照。

≪ 疑問詞 + to ~ で≫【不定詞(2)】

how to ~ 『~の仕方、~の方法』

who **to** ~ 『だれ<u>を</u>[に]~すべきか』

what **to** ~ 『何を~すべきか』

where to  $\sim$  『どこ $\wedge$ [で] $\sim$ すべきか』

when to ~ 『いつ~すべきか』

which (名詞) to ~

『どちら(の 名詞)を~すべきか』

※ why を使った用法はない。
☆ かんたん英文法【不定詞(2)】参照。

It is ~ (for 〔人〕) **to** …. 【不定詞(3)】 『(〔人〕にとって) …するのは~だ。』 ※ for 〔人〕の部分がない英文もある。 I go **to** school by bike. 『私は自転車で学校へ行きます。』 Let's listen **to** music. 『音楽を聞きましょう。』

May I speak to Emi, please?『エミをお願いします。』[電話で] Turn (to the) right at the next corner.

『次の角で右に曲がりなさい。』

It's five to nine. 『9時5分前です。/ あと5分で9時です。』 China is to the west of Japan. 『中国は日本の西のほうにある。』 The library is open from nine to six.

『その図書館は9時から6時まで開いています。』

動詞 〔物〕 to 〔人〕 『〔人〕 に 〔物〕を 動詞 する』

Please give the book **to** me. 『その本を私にください。』 = Please give me the book.

※ 上は第3文型、下は第4文型の文。動詞が give, show, teach, tell などの文では to を使う。最下部の説明も参照のこと。

≪不定詞(1)…①②③≫ … <わしくは【かんたん英文法】参照のこと。</p>
I like to swim.

= I like swimming. 『私は泳ぐのが好きです。』

They went to the park to play soccer.

『彼らはサッカーをするためにその公園へ行きました。』

I'm happy to hear that. 『私はそれを聞いてうれしいです。』
Tom wants something to drink.

『トムは何か飲むもの(←飲むための何か)を欲しがっています。』

《不定詞(2)》 … くわしくは【かんたん英文法】参照のこと。 I know how to swim. 『私は泳ぎ方を知っています。』

《不定詞(3)》 … くわしくは【かんたん英文法】参照のこと。

It is difficult for me to read the book.

『私にとってその本を読むのは難しい。』

≪第3文型と第4文型≫ ☆ かんたん英文法も参照のこと。

○ 第3文型 … 主語 + 動詞 + 目的語 から成る文。(…それ以外の語句は意味を付け加えるおまけの語)

○ 第4文型 … 主語 + 動詞 + 目的語『~に』【人】 + 目的語『…を』【物】から成る文。

動詞 [物] to [人] 『(人) に [物] を 動詞 する』

Please teach English **to** me. … [第3文型] = Please teach me English. … [第4文型]

- ① 動詞がgive, show, teach, tell などの文ではto を使う。
- ② **動詞がbuy, make, get, cook, choose, find のときは for を使う。** 中学生は buy, make をまず優先的に覚えましょう。

≪to と for の使い分け≫

『与える』『教える』など、 2人以上の人がいないと その動作をできないとき には to、『買う』『作る』 など、1人でできる動作 のときには for を使う。